

京都市下京区
大西啓子さん・自然エネルギーを身近にする人

持続可能な社会を目指して 一人ひとりが行動する京都にしたい…



環境への負担を減らす 自然エネルギーの普及

長男を出産したころ、有吉佐和子さんの「複合汚染」が新聞に連載され、環境や農薬の問題に関心を持ちました。そんな時に出会ったのが「使い捨て時代を考える会」でした。物や人が使い捨てにされない社会の実現を目指して、有機農業などできることから実践していきましようというもの。子どもに安全なものを食べさせたいという想いも強く、メンバーに加入。無農薬野菜の共同購入活動への参加をはじめました。「食・健康」「生活・環境」「有機農業」などについての問題と向き合い、環境への負荷を減らした暮らし方を考えていく上で、たどりついたのが自然エネルギー（※1）の普及でした。社会に対して少しでも働きかけようと、2000年に環境NGO

関係者と立ち上げたのが「きょうとグリーンファンド」です。省エネ型の暮らしと社会を目指して、自然エネルギーを普及していく活動です。市民や企業の皆さんからの寄付金を積み立てた「おひさま基金」をもとに、保育園や幼稚園などに環境学習の拠点となる太陽光発電設備「おひさま発電所」をつくり、環境学習を進めています。

省エネ型の暮らしを 子どもたちに

設置する保育園や幼稚園では、まず保育士さんたちの意識を変えてもらうことからはじまり、節電や水の使い方、ゴミの出し方など省エネにつながる行動を率先して行ってもらいます。「今日はおひさまがすごく頑張っているから、電気がたくさんできたよ、だからみんな大事に使おうね」と保育士さんは子どもにも上手に伝えてくれま



おひさま発電所の下で、おひさまのような笑顔を見せる子どもたち



設備ができて初めて行う点灯式。子どもたちから「もったいないからもう消そう」と声が上がるとか

かがみもちが
光ってるよ

